

まえがき

「代天才」……はて？ 何のことだろう、と思つてこの本を手にしたのではないでしょうか？

私の生業は「書家」です。

それならば書道の天才？……ということではありません。

もちろん「書家」と名乗っていますし、書道歴は「五十年以上」。幼少の頃より様々な賞を頂き、賞状は多すぎて飾られることもなく箱の中に詰め込まれていましたし、大人になって書家として活動を始めてからは国内はもちろんのこと、アメリカをはじめヨーロッパで展覧会を開催していますので、少なからず才能はあるのだと思います。

ここで言うところの天才とは「書」に関するものではありません。

まあ、書に対してではないにしても自分のことを天才だなんてふざけていると思われませんか？

天才とは文字どおり、天から授かった才能のことですが、この本で言わんとする私にとつての「才能」とは私だけのものではなく、自分以外の人のためにある「才能」のことなのです。つまり、他の人のために使う天賦の才（代理とでも言いましょうか）のことを表しています。

「代天才」という題にしたのはそのためです。

この才能を授かったことにより、自分が予想もしなかった不思議な体験をしました。またその才能を開花させるため普通なら逃げ出したくなるような苦い経験をするようになりました。

しかし、その経験が今の私を作っていますし、毎日を充実させ、楽しい人生へと導いてくれます。

私はこの本を通して、読んでくださった皆様に楽しく充実した人生を歩んでいただくお手伝いができればと願っています。

さて、私の授かった天賦の才とは何なのでしょう？

何はともあれ、その一部始終を書かせていただくことにいたしましょう。